

ザ・もつともきた 最北航路 148号



巡視船りしり 稚内へ初入港

初めまして稚内

巡視船りしり（船長 秋山寛治）は三菱重工業（株）下関造船所に於いて建造され、平成28年10月27日に引き渡しを受け、初めまして、各種訓練等を経て11月8日基地である稚内港へ初入港しました。



「りしり」を稚内海上保安部長ほか幹部が出迎え

着岸の際には、最北の街にふさわしく時折吹雪に見舞われる寒空の下、及川誠部長ほか当部職員や大勢の市民の出迎えを受けながら、ライトメールに初めまして、巡視船りしりです。今後ともよろしくお願ひします。」と表示し、港内に停泊している巡視船もとうらと港内で出迎えていた巡視艇きたかぜは、国

際信号旗「UW2」（意味は「歓迎」・「ようこそ」）を掲揚し、また、もとうらからの汽笛に対し、頼もしげな大きな汽笛で応え、同港北ふ頭岸壁に着岸しました。着岸後、及川部長は、秋山船長から入港の報告を受け、ぎ装等長期間の乗組員の労をねぎらった後、船内施設の説明を受けました。



稚内港に初入港する「りしり」

今後は、道北地区唯一のヘリコプター甲板付き巡視船として、ヘリコプターとの連携が可能となり、救難対応能力の強化が図られたことにより、大規模災害時や離島での災害対応等、益々の活躍が期待されます。



「もとうら」での心肺蘇生法実習

海上交通安全への尽力に感謝

稚内海上保安部は平成28年11月1日の灯台記念日に、長年航行援助業務に協力いただいた宗谷、稚内両漁協に海上保安庁長官表彰を贈りました。

宗谷漁協は宗谷岬灯台及びび谷港外北防波堤灯台の、稚内漁協は西稚内港北防波堤灯台の灯台監視委託団体として、それぞれ20年以上にわたる協力頂いているもので、海上交通安全の確保に對する多大な協力に感謝して表彰するものです。



宗谷漁協での感謝状伝達後の記念撮影

「灯台記念日」我が国初の洋式灯台である観音埼灯台の起工日（明治元年11月1日）に因んで11月1日を灯台記念日と定めています。

海上保安官にならないか？ 職場体験

平成28年10月25日稚内海上保安部では、市内の高校生4名に對する職場体験学習を行いました。海上保安業務の説明に始まり、チャートワーク、要救助者搬送訓練、心肺蘇生法、指紋検出体験等の濃い実習を終えた生徒

達は、もう未来の海上保安官！そのキラキラした瞳に、私も初心に帰る思いでした。他に、今年には管内の小中学校、高校等の計9校の職場体験や施設見学を受け入れ、務への理解を深めていただく事が出来ました。

